

殻斗は「帽子」それとも「パンツ」？ — 子どもたちの殻斗の認識（呼び方）について —

佐藤 孝介（兵庫県立三木山森林公園 環境学習サポーター）

はじめに

兵庫県立三木山森林公園では、環境体験学習として小学校3年生の児童を受け入れている。筆者はそのサポーターとして園内の動植物の説明をしている。この中でドングリの成長と保護の役目を果たす殻斗の話をするところがあるが、児童がより興味と関心を持てるよう説明するために、三木市近郊において児童が殻斗をどのように認識している（呼んでいる）かを調査した。また、あわせて保育所等の園児はどう認識しているか、絵本等にはどう描かれているかを調査した。

殻斗は地域により、また家庭など一定のつながりの中で「帽子」、「パンツ」、「お椀」、「はかま」など、いろいろな言い方がなされるが、本報告では「帽子」、「パンツ」をその代表例として調査した。

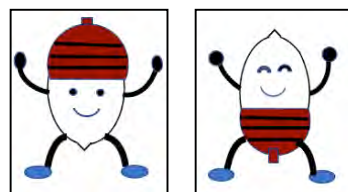


図1 殻斗の「帽子」(左)、「パンツ」(右)のイラスト

方法

(1) 調査1（小学3年生調査）

令和2年10月、11月に兵庫県立三木山森林公園に環境体験学習として来園した5つの小学校の3年生221名(17グループ)に対して、各グループを担当する園職員、環境学習サポーター（調査実施者）が現場で殻斗を「帽子」、「パンツ」に見立てたドングリのイラスト（図1）を見せ、いつもはこの部分（殻斗）を何と呼んでいるか、「帽子」もしくは「パンツ」と呼んでいるかの答えを求めた。また、同時に引率教師10名に対し、教師自身はどう認識しているか調査した。

なお、イラストの見せ方によっては、回答する児童、引率教師に「帽子」、「パンツ」の刷り込みがなされ、結果に偏りがでるのではないかと指摘があり、その方法については、調査実施者にグループの雰囲気、現場の状況により適宜判断を委ねた。



写真1 環境体験学習のようす
(三木山森林公園 提供)

(2) 調査2（保育所等の園児調査）

令和2年9月に三木市と近郊の6つの保育所等に通う3歳児、4歳児、5歳児に対して保育士等を通じて、イラストも含め調査1と同じ方法で調査した。同時に保育士等自身はどう認識しているか調査した。

なお、殻斗に関連する園共通の教材（例えば「どんぐりころころ」のような歌指導の絵本など）があれば、統一的な結果が想定されるため、その有無についても聞き取りを行った。



写真2 子ども園での保育風景
三木市
清心認定こども園 提供

(3) 調査3（図書館等における絵本・紙芝居等調査）

特に保育所等の園児が保育所、家庭等で目にすると思われる絵本、紙芝居、物語について殻斗がどのように描かれているか調査した。調査は令和2年10月、11月、12月に三木市立図書館と近隣市町の神戸

市立西図書館、明石市立図書館、稲美町立図書館において児童書の「ドングリ」で蔵書検索を行い、図鑑類を除いて現地で「帽子」、「パンツ」として描かれていると判断されるものを確認した。

蔵書としているが、現地で確認できなかった図書については、検索結果と同じ書名、作者、出版社のものをインターネット上で探し、どう描かれているか表紙のみ調べた。



写真3 図書館の絵本書棚
(稲美町立図書館 提供)

結果

(1) 調査1 (小学3年生調査) について

表1に5校の小学3年の児童、引率教師における殻斗の認識調査結果を示す。

「帽子」と認識する児童の数は86.9%、「パンツ」と認識するものは12.2%であった。

引率教師では「帽子」と認識するものが10名中7名、「パンツ」と認識するものが2名、その他1名であった。

表1 小学3年の児童、引率教師における殻斗の認識調査結果 (名) (%)

| 校名 | | A 小学校 | B 小学校 | C 小学校 | D 小学校 | E 小学校 | 合計 | 割合 |
|------------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|-----|-------|
| 児童数 | | 48 | 54 | 85 | 11 | 23 | 221 | 100.0 |
| グループ数 | | 4 | 4 | 6 | 1 | 2 | 17 | 100.0 |
| 小学3年 児童 | 帽子 | 31 | 52 | 76 | 11 | 23 | 192 | 86.9 |
| | パンツ | 15 | 2 | 9 | 0 | 0 | 27 | 12.2 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 無回答 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.9 |
| 引率教師 | 帽子 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 7 | 70.0 |
| | パンツ | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 20.0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | はかま | 1 | 10.0 |

(2) 調査2 (保育所等の園児調査) について

表2に6保育所等の園児、保育士等の殻斗の認識調査の結果を示す。

具体的な人数で回答があったA、C、D、E園の「帽子」と認識する園児数を集計すると88.9%であった。記述回答があったB、F園でもほぼ全員が「帽子」と答えていた。

殻斗の共通教材の有無について個別にみると、有さないA園では「帽子」と答えたものが3歳児では74.2%、4歳児では76.5%、5歳児では64.5%との回答があり、「パンツ」と答えたものの2~3倍の数であった。B園では「パンツ」と答えたものが3歳児では無し、4歳児では3割、5歳児では1割程度との回答があった(表2 *4参照)。

共通教材を有するC、D園、全園児が遊戯で「帽子」として取り組むF園では、全員が「帽子」と答えた。なおE園では共通教材があるものの「パンツ」と答えた3歳児、4歳児、5歳児が各年齢とも10%程度いた。

保育士等の認識については、全員が「帽子」で「パンツ」、「その他」は無かった。

表2 保育所等の園児、保育士等の殻斗の認識調査結果 (名)

| 園名 | | A園 | | B園 | | C園 | | D園 | | E園 | | F園 |
|--------------------|------------|----|----|------------------|--|-------------|----|-------------|----------------|-------------|---|----|
| 「殻斗」についての園共通の教材の有無 | | 無 | | 無 | | 有 (紙芝居等) | | 有 (DVD等) | | 有 (紙芝居等) | | *1 |
| 3歳児 | 帽子 | 23 | *2 | ほぼ全員 (定員40) | | 35 | *4 | 26 | 73 | | 園庭で遊ぶ園児に見せたところ全員が「帽子」と答えた。 イラストを横に並べて見せても同じであったとのこと。 定員は各年70名 | |
| | パンツ | 8 | | 0 | | 0 | | 0 | 9 | | | |
| | 無回答 その他 | 0 | | 答えられない (2~3名) | | 0 | | 0 | 0 | | | |
| 4歳児 | 帽子 | 26 | *3 | ほぼ全員 (定員40名) | | 35 | *4 | 26 | 56 | | | |
| | パンツ | 8 | | 全体の 3割 | | 0 | | 0 | 8 | | | |
| | 無回答 その他 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 答えられない (7名) | | | |
| 5歳児 | 帽子 | 20 | *3 | ほぼ全員 (定員40名) | | 39 | *4 | 29 | 85 | | | |
| | パンツ | 11 | | 5~6名 | | 0 | | 0 | 8 | | | |
| | 無回答 その他 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | | | |
| 保育士等 | 帽子 | 12 | | 全員 | | 25 | | 30名以上 | 13 | | 全員 | |
| | パンツ | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | | | |
| | 無回答 その他 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | | | |

- *1: 共通教材はないが、園児全員が「遊戯」で「帽子」として取り組んでいる。
- *2: 「あたま」と答えた3名、「ズボン」と答えた1名をそれぞれ「帽子」、「パンツ」に振り分けた。
- *3: 「あたま」と答えた4名、「からだ」と答えた1名をそれぞれ「帽子」、「パンツ」に振り分けた。
- *4: 4歳、5歳児で「ほぼ全員」が「帽子」と答えたにもかかわらず、一定数が「パンツ」と答えているのは、園児が質問を「帽子」または「パンツ」の二者択一ではなく、「帽子と思う人」「パンツにも見える人」のように捉えたのではないかと思われる。(表内は返ってきた調査票のとおり記載。)

(3) 調査3 (図書館等における絵本・紙芝居等調査) について

表3に絵本等における殻斗の描かれ方の調査結果を示す。

図書館で直接、本文内容を確認したものでは殻斗が「帽子」として描かれていると判断したものは「パンツ」と判断したものより2倍多く描かれ、インターネット調査では表紙だけの確認であるが、2倍以上多く描かれていた。

表3 絵本等における殻斗の描かれ方

(冊)

| | (1) 図書館で本文内容を確認したもの | (2) インターネットで表紙のみ確認したもの *1 | (1) + (2) |
|------------|---------------------|------------------------------|-----------|
| 帽子 | 12 | 17 | 29 |
| パンツ | 6 | 7 | 13 |
| 擬人化なし *2 | 13 | 33 | 46 |
| 絵なし *3 | — | 35 | 35 |
| 表紙の画像無し *4 | — | 2 | 2 |
| 内訳 | 31 | 94 | 125 |
| 総数 | 125 | | |

*1: 表紙のみの確認であるため、本文が「帽子」もしくは「パンツ」として描かれているかどうかは不明。

*2: ドングリに目や口が描かれていないものを「擬人化なし」(写真含む)とした。

*3: インターネットで表紙にドングリが描かれていないものは「絵なし」とした。

*4: インターネットで表紙の画像が掲載されていなかったものは「画像無し」とした。

まとめ

今回の小学3年の児童、保育所等の園児調査では、殻斗を「帽子」と認識する子どもが大多数を占めており、現時点での三木市近郊の子どもたちの殻斗の認識(呼び方)は、「帽子」がほぼ定着していると考えた(図2)。

絵本等調査では、殻斗が「帽子」として描かれていると判断したものの方が「パンツ」と判断したものより2倍以上多くあった。このことは、園児や保育士等がドングリの絵本等に接するとき、殻斗が「帽子」と描かれるものを目にする機会が多く、ひいてはそれが印象に残り園児や保育士等の殻斗の認識率にも関係すると考えた。

また、筆者は児童館に勤務したことがあり、その経験から一般に年少の子どもは「パンツ」や「うんち」の言葉が大変好きであるが、大人が子どもに殻斗の話をするときは、あえて人前で使わないこれらの言葉を使わずに「帽子」と話すことが多いのではないかと推測しており、これも「パンツ」と認識する子どもが少ないことに関係しているのではないかと考えている。

環境体験学習のサポートを行うにあたっては、多くの子どもたちが殻斗を「帽子」と認識している(呼んでいる)ことを踏まえ、殻斗の働きを正しく、楽しく伝えていきたい。

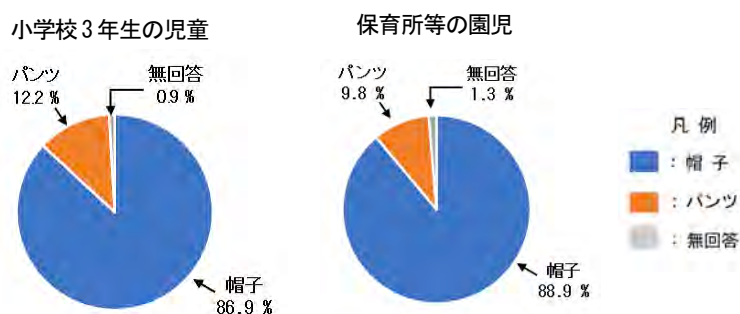


図2 小学校3年生の児童(左)、保育所等の園児(右)における殻斗の認識
(なお右のグラフは、定量回答があった園について作図)